

平成27年度 魚沼市道徳部 活動報告

部 長 平澤 健一

1 研究主題 道徳の教科化に向けて今何をすべきか

2 研究の概要

道徳の教科化に向けて各校の道徳部員が中心となって学びを深め、校内において積極的に情報発信して行く役割を担う。そのための情報交換を行う。

3 研究の実際

- | | | |
|-------------|-----------|----------------------------|
| (1) 第1回道徳部会 | 4月16日(木) | 活動計画の話し合い |
| (2) 第2回道徳部会 | 8月20日(木) | 講演会・情報交換会 |
| (3) 第3回道徳部会 | 11月17日(火) | 授業公開・授業検討会 |
| (4) 第4回道徳部会 | 12月25日(金) | 道徳教育研修会(市学習指導センター事業とタイアップ) |

4 成果と課題

(1) 成果

①8月20日に附属長岡小学校の大竹直志先生を講師としてお迎えして「道徳の教科化に向けて」という演題で講演していただいた。また、道徳部員でレポートを持ち寄り、自分の実践についてグループになって情報交換を行った。教科化を目前に控える中、道徳授業について各校の道徳部員の意識を高めることができた。

②『私たちの道徳』(3・4年生用)にも取り上げられている「ブラッドレーの請求書」を教材とした授業を公開した。この授業では、いかにして道徳の授業に保護者を巻き込むかということに焦点があてられた。同じ教材を用いて、3年・4年・5年・6年と4つの学年で授業を行い、教材の有用性についても意見交換することができた。

③市の学習指導センターと連携することで、部員の多忙感を最小限におさえながら、効率的に研修を進めることができた。

(2) 課題

道徳の教科化に向けた準備の必要性について道徳部員の意識は高まっている。課題は、一人一人の部員の意識の高まりを各校において実際にどのようにして行動レベルに落とししていくかである。

今年度は、教科化に向けて何をどのように準備しなくてはならないかについて研修を深めた。また、道徳部員の授業実践を持ち寄る事によって具体的な授業づくりについても研修を深めた。今後は、各学校において教科化に向けて組織としてどのような取組がなされているのか。道徳部員としてその取組にどのようにかかわっているのかについてお互い情報交換することにウエイトをかけていく必要がある。